

平成27年6月21日  
今週のベストショット



青松園B 三友クラブ 対 塩浜ジャガーズ戦

四回裏、代打で登場し大逆転の口火を切って今季初勝利の貢献した塩浜ジャガーズ今林秀昭選手。

写真：レッドサンデーズ 八島久徳

青松園B 逆転に次ぐ逆転でジャガーズ今季1勝目！

三友クラブ (2勝2敗) 01502 8 久岡●-西田

塩浜ジャガーズ (1勝4敗) 00362× 9 内田○-橋村

3BH：柿崎 (三友ク) 2BH：松尾 (三友ク) 盗塁：松尾、大坪 (三友ク)

初回無得点同士で迎えた二回表、三友クラブは六番松尾選手のライトへの二塁打と盗塁で一死三塁として、七番福井選手のライト前タイムリーで先制。三回表は、一番柿崎選手の左中間を抜く三塁打にエラーが絡み2点目。続く二番竹岡選手のセンター前、連続死球に五番松尾選手のタイムリーやWPで計5点。しかし、三回裏ジャガーズは二死一三塁から六番稗田選手のライト前を三友クラブ大坪右翼手がトンネルし、稗田選手が長駆ホームインで3点を返す。四回裏、バント安打を含む三連打で無死満塁としたジャガーズは、二番竹尾選手の右飛がエラーとなり1点。一死後、押し出しと五番荒木選手のタイムリー、二死後七番野中選手の2点タイムリーで計6点と一気に逆転！しかし、三勝目に意欲を燃やす三友クラブは、五回表に一死から四番中嶋選手、五番中内選手の連打に二死から七番坂本選手の四球で満塁とすると、ここで八番ライト大坪選手に汚名返上のチャンス！すると見事期待に応える2点タイムリーで再逆転。五回裏1点を追うジャガーズは、一死から一番竹尾選手がライト前に放つと又もエラーが重なり二塁へ。続く二番田中選手のバントがエラーを誘い同点に追い付き、ランナー二塁。二死後、四番佐藤選手の当たりは四度 (よたび) ライトへ。まさか、まさかのそのまさかが起こり、ジャガーズが再々逆転。続く五番荒木選手がレフト前を放ったところで、時間切れの試合終了。試合全般を通して流れが行ったり来たり75分間はジャガーズの今季1勝目で幕を閉じた。(記事、写真：レッドサンデーズ 八島久徳)





熱戦の火蓋が切って降ろされる。



ジャガーズ先発の内田投手。



三友クラブ先発、新人の久岡投手。



女房役は三友クラブ、新人の西田捕手。



豪快なスイングが売り、三友クラブ新人の中内中堅手。



二回表、先制打を放った三友クラブ七番福井選手。



超至近距離カバリングで悪送球を取る福井二塁手。



三回表、5得点の口火を切る一番柿崎選手。





三回裏、3点を返したジャガーズ六番稗田選手。



四回裏、代打で大逆転への中前打を放つ今林秀昭選手。



四回裏、2点タイムリーの五番荒木選手。



この回6点目のタイムリー、七番野中選手。



笑顔で見守るジャガーズベンチ。



今季一勝目、次も勝ちましょう！

#### 雁レク軟式4 悪夢の二回・・・ 昨年の王者敗れる

新町パイレーツ (4勝1敗) 27000 9 吉田○-桐島

奈多サンデーズ (4勝1敗) 02100 3 木下●-土田

2BH: 桐島、本堂(新町パ) 盗塁: 野々下(奈多サ)

昨年の王者奈多サンデーズ对新町パイレーツの試合は9対3とパイレーツが勝利した。サンデーズの先発木下投手は立ち上がり制球が安定せず、二番と連続で四球を出してしまう。そのランナーをバントで送り一死二三塁となり、ワイルドピッチでパイレーツが先制。さらに四番山本選手のタイムリーで追加点。対するパイレーツ



先発の吉田投手は初回を三人で仕留める完璧な立ち上がりを見せる。その直後の二回表はサンデーズにとって悪夢のような時間だったろう。この回パイレーツは先頭打者の三重野選手のヒットから始まり打者11人6安打を集め一挙7点を挙げる。反撃に出たいサンデーズはその裏2点を返す。更に立ち直ったサンデーズ木下投手のいいリズムが乗り移ったのか三回裏、野田選手のタイムリーで1点を返す。しかし、吉田投手の緩急自在のピッチングの前に反撃もここまでだった。パイレーツの二回表の攻撃は長打こそほぼなかったが右方向への当たりや一塁から短打で一気に三塁を陥れる攻撃的な走塁などが目立った。次の塁への意識、つなぐ意識の大切さを感じる試合となった。(記事、写真：ブルーマーリンズ 井手翔一郎)



試合前、握手する両監督。



尻上がりに調子を上げたサンデーズ木下投手だったが・・・。



緩急自在のパイレーツ吉田投手。



二回表、タイムリーを放つ一番桐島選手。



決死のホーム突入をするサンデーズ野々下選手。



三回裏、タイムリーを放つサンデーズ野田選手。





今日のヒーロー達！左から三重野、岩本、吉田、中島、白岩、桐島選手。

### 奈多グラウンド 三苦ホーネッツが危なげなく勝利！

三苦ホーネッツ (3勝1敗) 3 1 0 2 3 0 2 1 1 矢野○、井手ー広木

ソルトベ이스ターズ (0勝5敗) 0 0 0 3 0 0 0 3 中村(祐)●ー春田

HR：荒尾(ソルト) 3BH：前園(三苦) 2BH：矢野(ソルト) 盗塁：松尾(三苦ホ)

一回表三苦ホーネッツは、二番永島選手がしぶとく内野安打で出塁。四番広木選手の四球で二死一二塁とする。五番松尾選手がきっちりセンターへ弾き返す。すると、センターが後逸してしまい走者一掃、打者松尾選手も返り、ソルトベ이스ターズは痛いミスで3点を献上してしまいました。一回裏、ソルトベ이스ターズも二番矢野選手が右中間への二塁打で出塁するものの後続が倒れ、得点できず。しかし四回裏、相手失策等から二死二三塁の大きなチャンスに六番荒尾選手が左中間を超えるHRを叩き出し、3点を奪い返す。しかし終わってみれば、ソルトはこの回の3点のみ。ホーネッツは手堅く単打を重ね、13安打の11得点と危なげなく勝利をものにしました。先発の矢野投手から井手投手への完璧な継投で不安な要素は見つからなかった。

(記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



ソルトベ이스ターズ先発中村(祐)投手。



ホーネッツ先発矢野投手。





一回表、チーム初安打を放つホーネットス永島選手。



一回裏、チーム初安打のソルト矢野選手。



二回表、WPで果敢に突っ込むがタッチアウト！



見事ホームゲッツーを成功させるソルト春田捕手。



四回裏、左中間へ本塁打を放ったソルト荒尾選手。



今日一番の笑顔、荒尾選手。



猛打賞となる3安打目のホーネットス矢野選手。



久しぶりの登板、ホーネットス二番手の井手投手。



## 青松園A 奈多クラブ終盤の集中打！

新町ウインズ（3勝2敗0分）00110 2 城戸●－今林（孝）

奈多クラブ（3勝1敗1分）10004 5 今林（瑠）○－高瀬

HR：馬場口（奈多ク） 2BH：今林（新町ウ） 吉田（奈多ク）

新町ウインズ先発城戸投手、奈多クラブ先発今林瑠生投手で始まった今日のゲーム。初回、先攻のウインズは二死から三番今林選手がヒットで出塁すると四番野田選手が四球でチャンスを作るも続く桐島選手がサードフライに打ち取られ無得点。一方の奈多クラブは二番今林瑠生選手がヒットで出塁すると四番馬場口選手が四球を選びこちらも二死一二塁とチャンスを作ると、五番上野選手がレフト前タイムリーを放ち先制する。追い付きたいウインズは三回表、三番今林選手がレフトヘタイムリー二塁打を放ち同点に。四回表、ウインズは五番桐島選手が内野安打で出塁すると七番大久保選手が送りバント。これを今林瑠生投手が一塁へ悪送球し、桐島選手がホームインして逆転！と思いきやボールデットの判定で、一死二三塁で仕切り直し。しかしチャンスは変わらず、ここでウインズ八番野中選手の犠牲フライで逆転に成功！追い詰められた奈多クラブだったが五回に二番、三番の連続安打でチャンスを作ると四番馬場口選手が3ランを放ち逆転！さらに吉田選手がダメ押しタイムリーを放ち勝負あり。終盤集中打の奈多クラブが勝利を納めた。（記事：三苦三球会 右山健太郎、写真：船橋文哉）



新町ウインズ先発の城戸投手。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



三回表、同点タイムリーを放ったウインズ今林選手。



ボールデッドかインプレーか、主審の説明を聞く両監督。



四回表、ホームへ激走するウインズ桐島選手。



試合を決める3ランを放った奈多クラブ馬場口選手。

## 第8週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第8週、6月21日は4試合が行われました。

青松園Bの三友クラブ対塩浜ジャガーズ戦は、序盤三友クラブのフレッシュな力が躍動する展開。久岡ー西田バッテリーに中内中堅手。これに柿崎選手の4人がチームを活気づけ、三回表で6ー0。相手は今季未勝利のジャガーズということもあり、三友クラブの三勝目は堅いかと思われた。しかし、三友クラブのライトが交代してから、重要な打球がライトへ。そのことごとくが点に結びついた結果、ジャガーズの大逆転に結びついた。共に声がよく出た笑顔の絶えない試合だった。

雁レク4の新町パイレーツ対奈多サンデーズ戦は、一回表サンデーズ木下投手の制球難に付け込んでパイレーツが2点を先制する。一方、パイレーツ吉田投手は一回裏、奈多サンデーズの強力上位打線を三者凡退に抑える。その投球に応えるようにパイレーツは二回表、四球を挟んでの四連打に連続タイムリーなどで一挙7点、9ー0とする。サンデーズも意地で3点を返すも、パイレーツ吉田投手に四、五回を三人で抑えられ万事休す。パイレーツは昨年覇者サンデーズに初黒星をつけ、4勝1敗の首位タイに躍り出た。サンデーズはエース塚本投手の不在が響いたか？

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対ソルトベイスターズ戦は、四回表までに6ー0とリードしたホーネッツに対し、1安打に抑えられてたソルトは四回裏、六番荒尾選手の3ランで3点差に迫るも、攻撃の手を休めないホーネッツはその後5点を奪い、11ー3で勝利。フルメンバーとは言えない打線ながら、13安打11得点のホーネッツの打線の厚さを感じる一戦だった。

青松園Aの新町ウインズ対奈多クラブ戦は、ウインズエース藤田投手に代わり、城戸投手が先発し、強力奈多クラブ打線を四回まで1失点で凌ぐ。すると四回表野中選手の犠飛1点勝ち越しを受け、五回裏のマウンドへ。ここでお尻に火が付いた奈多クラブ打線は、無死一二塁からと四番馬場口選手の3ラン！更にもう1点を挙げたところでタイムアップ。奈多クラブが得意の終盤逆転劇で辛くも勝利した。



プロ野球のマツダオールスターゲーム（7月17日：東京ドーム、18日：MAZDA ZOOM ZOOM スタジアム広島）のファン投票結果が発表されました。

日本ハム大谷選手は、先発投手部門で二位に28万表差をつけてぶっちぎりの一位でビックリしていたら、一塁手部門では同じ日本ハムの中田翔選手が二位に30万票をつけて一位選出でした。

今年メジャーで20億円を蹴って、広島に復帰した黒田投手もファン投票1位でした。

ファン投票以外にも、各チームの選手間投票も行われ、さらに監督推薦で全28選手が揃います。

フレッシュな顔ぶれや復帰組、苦労人など今年も個性豊かな選手の活躍が楽しみです。

WSLでも年末の納会前に各チームから選抜選手で構成された代表チームでホークス若手と試合していたこともありましたね。

近年、雨の影響で納会が伸びたり、ホークスとの交流戦も行われなくなり、少し寂しいですが、また各チーム入り乱れてのオールスター戦のような試合をやりたいですね。

毎年9月の運営会議後に行われている、執行部、運営委員、編集部、記録部の「G.O! D.O! 飲み会」を今年も行いたいなあと考えております。

執行部と各チームの運営委員、編集部員、記録部員さんが入り乱れての楽しい一夜にしたいと思います。